



世界中でナンバーワンの階段避難器具

急いで購入、後で後悔？

イーバック+チェアーに似せた商品が出回っています。これらは安全性を確保できないばかりか、長期的には多大な出費となります。購入前には、必ず実物を試用することをお勧めします。ニセの商品は外観こそ似ていますが、機能の面では全く異なります。



1. 使用前にチェアーを開く

操作をする人の指や手にかからまることなく、すばやく容易にチェアーを開くことができればなりません。また、片手でスキー部分やバックルやストラップなどを外しながらチェアーのバランスを取る必要もありません。



2. チェアーの重量

チェアーの重量はとても重要なポイントです。特に建物の随所にチェアーが配置されている場合、実際にチェアーを必要としている人の所まで運ぶ手間や、設置場所から出す作業も考慮しなければなりません。特に現代人のボディ・マス指数（BMI指数）が上がる傾向の中、チェアーの重量と強度の関係は慎重に考慮されなければなりません。



3. チェアーの移動のしやすさ

チェアーは、身体に障害を負っている人を乗せて押して移動することを前提に設計されていなければなりません。チェアーが安定していること、チェアーに乗っている人の両脇をささげるものがないこと、さらに乗っている人の安全性を確保することが必要です。障害者が車椅子からイーバック+チェアーに移る際には、車椅子とイーバック+チェアーのシートを同じ高さにしてください。そして障害者を支えながらイーバック+チェアーに乗せてください。



4. チェアーのスムーズな回転

建物内の階段は、踊り場やホールも含めて、1.2メートルの幅で設置することが法律で義務付けられています。ですから、踊り場や曲がり角では、余分な体の動きや力を加えることなく、チェアーがスムーズに回転することが必要です。



5. 階段を下りる速さ

健常者が普通に歩いて階段を下りる速度は、毎秒0.75メートルといわれています。避難用車椅子も、それを押している人の速さに合わせて、毎秒0.75メートルで動かなければなりません。イーバック+チェアーは、階段にいる周囲の人の動きを滞らせることなく、階段2段に15秒、4階からの降下に1分という速さで動く設計でできています。



6. 階段降下のスピード・コントロール

ほとんどの避難用車椅子には、階段2段分がそれ以上の段数に接する回転ベルト・ドライブが付いています。これは、アメリカのイーバック+チェアーのデビッド・イーガンが発明したコンセプトです。彼は摩擦でブレーキが利くイーガン・ポリマティックVベルトをデザイン・商標登録しました。体重の重い人が乗れば、より大きな摩擦がはたります。また、チェアーを操作する人が水平ハンドルを下に押すことによって、さらに摩擦が加わります。この摩擦が階段降下のスピードをコントロールします。このような摩擦作用のないチェアーが出回っていますので注意してください。階段降下のスピード・コントロールには、そのほかにケーブル・ブレーキ機能が必要になります。これは徐々に圧力を増減させるのではなく、自転車のようにオンかオフかというブレーキのメカニズムです。



7. 避難場所

建物から出て避難場所に着いても、チェアーはしっかりとしたポジションで快適でなければなりません。乗っている人がひとり取り残されることのないように注意してください。



8. アフター・サービス

製造元がチェアーの安全な操作のための講習会をしているか、またアフター・サービスがあるかも確認しましょう。さらに、その製造元がどのくらいその業界で営業をしているのか、どの国でチェアーを製造しているのかもチェックしましょう。



9. 品質の信頼性

避難用車椅子は人命に関わる製品ですので、英国医薬品庁 (Medical & Healthcare products Regulatory Agency, MHRA) の1級医療器具に登録されているか確認しましょう。

